

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	創薬等支援技術基盤プラットフォーム		担当部局	研究振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 板倉康洋		
会計区分	一般会計		施策名	I X-2 科学技術振興のための基盤の強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月閣議決定)、新たなライフサイエンス研究の構築と展開(平成21年12月ライフサイエンス委員会)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月医療イノベーション会議)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	創薬プロセス等に活用可能な最先端創薬等研究施設を保有する研究機関に対して、研究者等による当該施設の利用促進及び創薬プロセス等に活用可能な技術基盤の整備等を行うための経費を補助することにより、創薬等支援技術基盤の強化を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	創薬・医療技術に活用可能な最先端の計測・分析装置等を企業や大学等に対して広く共用するとともに、共同利用の促進に取り組む。また、広く研究者が最先端の創薬・医療技術支援基盤を共用する取り組みを支援するとともに、研究者等の利便性及び研究の効率性の観点から、これらの基盤が一体として活用できる体制を整備し、共用のために必要な運営経費等を支援。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	2,268	3,290	3,393	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	2,268	3,290	3,393	
	執行額	-	-	2,267				
執行率(%)	-	-	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションへの貢献を成果目標としており、本経費の執行に当たっては、研究の発展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であることから、成果目標を定量的に示せるものではない。		成果実績		-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	創薬等に活用可能な最先端研究基盤共用件数(上段)放射光施設外部利用件数(年度)(下段)化合物提供件数(積算)		活動実績 (当初見込み)	件/年 件(積算)	- -	- -	761 85	1,080 120
単位当たりコスト	3百万円/件		算出根拠	3(百万円/件) =(平成23年度執行額:2,267百万円)÷(実施件数:761)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	研究開発施設共用等促進費補助金	3,252.1百万円	3,356.9百万円	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 100百万円				
	科学技術試験研究委託費	27.8百万円	22.9百万円					
	非常勤職員手当	3.9百万円	3.7百万円					
	諸謝金	1.7百万円	2.6百万円					
	職員旅費	2.3百万円	2.6百万円					
	委員等旅費	1.7百万円	2.3百万円					
	庁費	1.0百万円	2.0百万円					
計	3,290百万円	3,393百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	○ライフイノベーションの実現に向けた重要課題である「安全で有効性の高い治療の実現」のために、創薬等の研究支援基盤を整備・高度化する必要がある。(第4期科学技術基本計画、4.(2). iii) ○創薬等の研究支援基盤を確立するため、オールジャパンの体制で最先端の技術基盤を整備し、広く研究者を支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	○公募により実施課題を募集し、公正なプロセスで課題選考を実施している。 ○全ての実施課題について業務計画書を精査し、事業目的に則した費目・使途となっているか等を確認し、適切な支出を行っている。また、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施し、資金の流れ、費目・使途が妥当であること、および効率の良い資金運用がなされていることを確認している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	○ターゲットタンパク研究プログラムの中間評価・事後評価等や、本事業の事前評価等を踏まえ、実効性の高い運営を行っている。 ○成果報告書を作成し当初計画と比べた進捗状況を確認した。 ○活動実績として、施設等の共用実績や化合物の提供実績が見込みに合っていることを確認している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	○ターゲットタンパク研究プログラムで整備された基盤技術や施設・設備等を活用すべく、「生産」「解析」「制御」及び「情報プラットフォーム」の4領域を平成23年度より「創薬等支援技術基盤プラットフォーム」として補助金事業を開始した。計画通り、外部研究者等に共用するための仕組みを整備し、積極的な外部開放を実施することができた。 ○成果報告書を作成し当初計画と比べた進捗状況を確認し、その外部研究者の利用実績や化合物の提供実績等について、計画通りに事業が実施されたことを確認した。 ○経費の費目・使途、厳格に把握している。具体的には、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点：本事業は、創薬プロセス等に活用可能な技術基盤の整備、積極的な外部開放(共用)等を行うことで、創薬・医療技術シーズ等を着実かつ迅速に医薬品等に結び付ける革新的プロセスを実現することを目的としたものであり、事業成果等の観点から検証を行った。 2. 所見：本事業は平成23年度からの新規事業ではあるが、事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業成果の検証を行うべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	本事業は、創薬プロセス等に活用可能な技術基盤の整備、積極的な外部開放(共用)等を行うことで、創薬・医療技術シーズ等を着実かつ迅速に医薬品等に結び付ける革新的プロセスを実現することを目的としたものであり、事業成果等の観点から検証を行い、「創薬等支援技術基盤プラットフォーム平成23年度評価」を踏まえ、より効果的・効率的に事業を実施すべく計画を見直し、旅費、外注費等の効率化による50百万円の縮減を概算要求に反映させた。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
創薬等支援技術基盤プラットフォーム ホームページ URL: http://www.pford.jp/			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-0049

※平成23年度実績を記入

文部科学省

2, 267百万円

非常勤職員手当4百万円
職員旅費 1百万円
委員等旅費・
諸謝金・庁費 2百万円

を含む

創薬プロセス等に活用可能な最先端創薬等研究施設を保有する研究機関に対して、研究者等による当該施設の利用促進及び創薬プロセス等に活用可能な技術基盤の整備等を行うための経費を補助することにより、創薬等支援技術基盤の強化を図ることを目的とする。

[公募・交付]

A. 創薬等支援技術基盤プラットフォーム
: 2, 238百万円

大学・独立行政法人等(全21機関)

[公募・委託]

B. 創薬等支援技術基盤プラットフォーム
支援事業 : 21百万円

独立行政法人科学技術振興機構

創薬・医療技術に活用可能な最先端の計測・分析装置等を企業や大学等に対して広く共用するとともに、共同利用の促進に取り組む。また、広く研究者が最先端の創薬・医療技術支援基盤を共用する取り組みを支援するとともに、研究者等の利便性及び研究の効率性の観点から、これらの基盤が一体として活用できる体制を整備し、共用のために必要な運営経費等を支援。

創薬等支援技術基盤プラットフォームにおける課題採択における審査、研究の評価、事業の管理等の事務を支援。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.国立大学法人東京大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	生化学実験機器・分析機器等	241			
人件費	創業専門職の雇用	130			
事業実施費	雑役務費	51			
	消耗品費	159			
	その他(旅費等)	28			
計		609	計		0
B.独立行政法人科学技術振興機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	支援業務委託費	21			
計		21	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	化合物ライブラリーの基盤構築とタンパク質制御技術の開発	609	企画競争	—
2	独立行政法人理化学研究所	タンパク質生産技術開発に基づく「タンパク質発現ライブラリー基盤」の構築	570	企画競争	—
3	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	高難度タンパク質をターゲットとした放射光X線結晶構造解析技術の開発	226	企画競争	—
4	独立行政法人理化学研究所	高難度タンパク質をターゲットとした放射光X線結晶構造解析技術の開発	217	企画競争	—
5	独立行政法人理化学研究所	化合物ライブラリーの基盤構築とタンパク質制御技術の開発	158	企画競争	—
6	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	ターゲットタンパク研究情報プラットフォームの構築運用	110	企画競争	—
7	株式会社ファルマデザイン	化合物ライブラリーの基盤構築とタンパク質制御技術の開発	69	企画競争	—
8	国立大学法人東京大学	タンパク質生産技術開発に基づく「タンパク質発現ライブラリー基盤」の構築	60	企画競争	—
9	国立大学法人東京大学	ターゲットタンパク研究情報プラットフォームの構築運用	58	企画競争	—
10	国立大学法人京都大学	化合物ライブラリーの基盤構築とタンパク質制御技術の開発	49	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人科学技術振興機構	創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業の課題採択における審査、研究の評価、事業の管理等の支援事務	21	企画競争	—